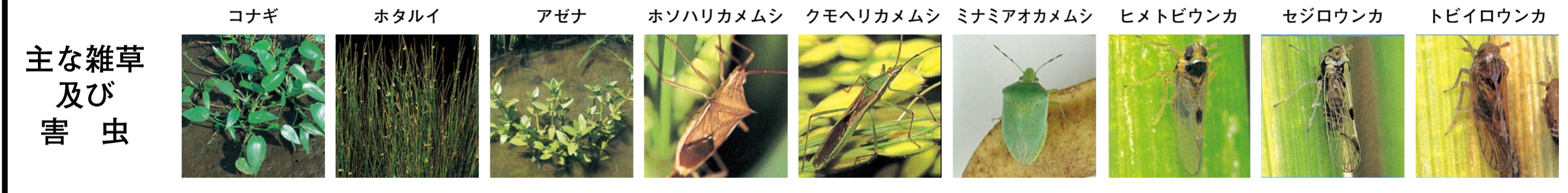
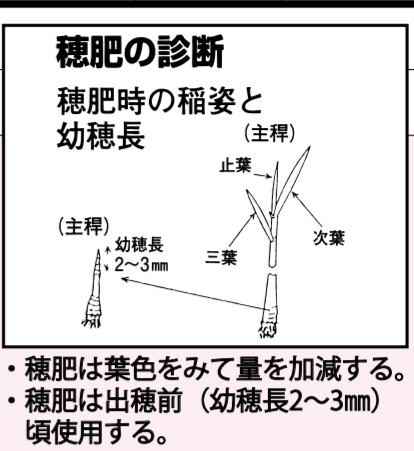




月	5			6			7			8			9			10					
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
夢つくし	生育期間	育苗			田植			幼穂形成期			出穂期			登熟期間			成熟期				
	水管理	浅水			間断灌水			中干し			間断灌水			浅水			間断灌水			落水	
主な作業	温湯消毒			除草剤処理②			穂肥			穂揃期防除③ (カメムシ)			収穫								
	基肥の施用 代かき 箱施薬① 田植(6/5~6/15)																				
元気つくし	生育期間	育苗			田植			幼穂形成期			出穂期			登熟期間			成熟期				
	水管理	浅水			間断灌水			中干し			間断灌水			浅水			間断灌水			落水	
主な作業	温湯消毒			除草剤処理②			穂肥			穂揃期防除③ (カメムシ)			収穫								
	基肥の施用 代かき 箱施薬① 田植(6/10~6/20)																				
ヒノヒカリF基準	生育期間	育苗			田植			幼穂形成期			出穂期			登熟期間			成熟期				
	水管理	浅水			間断灌水			中干し			間断灌水			浅水			間断灌水			落水	
主な作業	温湯消毒			除草剤処理②			穂肥			穂揃期防除③ (カメムシ)			収穫								
	基肥の施用 代かき 箱施薬① 田植(6/10~6/20)																				



○除草剤使用基準-② 次のいずれか1つを散布

種類	名称	10a当たり使用量	使用時期
田植後	粒剤 エーワン1キロ粒剤	1kg	田植後5~8日 (ノビエ2.5葉期まで)
	フロアブル エーワンフロアブル	500ml	田植後5~8日 (ノビエ2.5葉期まで)
	ジャンボ エーワンジャンボ	10パック	田植後5~8日 (ノビエ2.5葉期まで)
田植時	バッチリ1キロ粒剤	1kg	田植時 ※田植同時散布機使用

※除草剤処理後1週間は田面が露出しないようにすると効果が安定する。

○補正防除 必要に応じて次のいずれか1つを散布

雑草が残った場合	名称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期
スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	500~700ml/水70~100ℓ	広葉雑草 カヤツリグサ ホタルイ	田植後15~40日 但し収穫50日前まで
	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3~4kg		田植後15~40日 但し収穫60日前まで
	クリンチャーEW	100ml/水25~100ℓ	ノビエ	田植後20日~ノビエ5葉期 但し収穫30日前まで
	クリンチャー1キロ粒剤	1kg		移植後7日~ノビエ4葉期 但し収穫30日前まで
スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策	スクミノン	2~4kg	移植後、但し 収穫前90日	水口、深いところ等タニシの集まる所にスポット処理も有効

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策 ※在来種のタニシには影響なし(生貝の捕殺・卵塊の圧殺、取水口への網設置、浅水管理、厳冬の耕起等)

○病虫害防除

箱施薬-① 昨年の田の病虫害(編葉枯病やフタオビコヤガの幼虫による食害)の発生状況により、次のいずれか1つを選択

名称	使用量	使用時期	対象病虫害
嵐プリンス箱粒剤10	1箱当たり 50g	は種時(覆土前)~ 移植当日	いもち病、紋枯病、ウンカ類、 ニカメイチュウ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ
嵐プリンスチェス箱粒剤(編葉枯病対策)			同上 ※編葉枯病の原因となるヒメトビウンカへの効果が高い。
ツインターポフェルテラ箱粒剤(フタオビコヤガ対策)			いもち病、ウンカ類、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ ※フタオビコヤガの幼虫による食害に効果が高いが、紋枯病には効果がありませんので注意して下さい。

穂揃期防除-③ 次のいずれか1つを散布

名称	10a当たり使用量	使用時期	対象病虫害
スタークル粉剤DL	3kg	収穫 7日前まで	カメムシ類 ウンカ類
スタークル粒剤	3kg		
スタークル顆粒水溶剤	希釈倍率2000倍 散布液量60~150ℓ		
スタークル豆つぶ	250g		
ヘリ防除(スタークル液剤10)			

収穫適期(黄褐色率70~80%)

収穫早限
黄褐色率70%
籾水分28%
収穫晚限
黄褐色率80%
籾水分24%

適期収穫に努めましょう。

○施肥基準

品種名	肥料名	基肥	穂肥	成分量 (kg/10アール)		
				N	P	K
夢つくし	福岡嘉穂ユーキくん1号 (フレバーベスト846)	50	—	7.0 (6.0)	4.6 (2.6)	5.6 (4.6)
	福岡嘉穂ユーキくん3号	—	20			
ヒノヒカリF基準	有機エムコート256 (基肥1回)	60 (1回のみ)	—	7.2	3.0	3.6

稲わらの全量還元・土壌改良資材の施用 (10a当たりケイカルまたはミネラルGまたは、珪鉄のいずれかを160kg散布)

○品種特性表

品種名	項目	田植日	出穂期	成熟期	稈長	穂長	m当たり穂数	耐倒伏性	玄米千粒重	耐病性	
										いもち	白葉枯
夢つくし		6.5	8.10	9.14	77 cm	18.8 cm	377	やや弱	23.7 g	弱	やや弱
元気つくし		6.10	8.17	9.25	84	20.0	367	やや弱	22.7	弱	中
ヒノヒカリF基準		6.15	8.28	10.9	86	19.8	386	やや弱	22.6	やや弱	やや弱

特裁米の条件

※こよみに記載している肥料・農薬以外は使用できません。
※こよみ以外の肥料・農薬を使用した場合は必ず報告して下さい。(県認証より除外します。)

- ・フルイ目 1.85mm
- ・タンパク含有量 6.8%以下
- ・種子更新率 100%
- ・玄米水分 14.5~15.0%
- ・等級 1・2等
- ・入れ目 1%以上(30.6kg)
- ・栽培履歴 (必須)

肥料・農薬の注文は予約購入で経済効果を上げましょう。
農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、散布時には、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。
この栽培暦はJA米の生産基準を兼ねています。要件を満たさない米穀は区分してJAに出荷しましょう。

肥料・農薬・生産資材の購入はJAから!! 生産履歴は必ず記帳しましょう。